

予算要求課	商工観光部 観光課	内線 2217
-------	-----------	---------

金額の単位は、千円

款	6 商工費	項	2 観光費	目	1 観光振興費
事業名	62100 観光宣伝推進事業費				

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		34,990	75,697	40,707	18,890	事業の一部を民間主体での実施に移行	23,240	予算組替に伴い増 (国際観光推進事業費から一部移行)
財源内訳	国庫支出金	666		△ 666				
	県支出金							
	起債							
	その他	32,868	75,697	42,829	18,890			
	一般財源	1,456	0	△ 1,456	0			
							21,875	
							1,365	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
観光宣伝事業による観光PR等を官民協働で実施し、国内からの誘客を促進する			
事業実施の課題			
多様化する観光客ニーズへの対応 ネット等含めた効果的な宣伝強化 滞在型観光のPR強化			
事業概要			
各種印刷物の作成、各種メディア、旅行誌等への情報発信 物産展、交通事業者と連携した広域的な事業、観光大学開催による情報発信			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
観光客入込数(千人)	4,040	-	(H26 5,000)
成果			
観光客増加による市域全体の経済の活性化			
要求額増減理由			
各種メディアを活用した観光宣伝事業			

①総合計画			
(3) 「にぎわい」のあるまちをめざして			
観光			
(2) 多くの人々に地域の魅力を知ってもらう			
① 戦略的な誘客宣伝			
②実施計画・中期財政計画			
4 「にぎわい」のあるまちをめざして			
(1) 観光			
ソフト			
広域観光推進事業・もてなしのこころ醸成事業・観光情報等発信事業			
③事業評価			
事業名	観光情報等発信事業	今後の方向性	
評価区分	Ⅲ	観光客が高山を知った主な媒体として高い順からそれぞれ「旅行誌」「友人・知人」「テレビ」「パンフレット」「インターネット」となっており、リピーター率は約70%となっている。 こうした状況から、誘客においては、メディアへの露出・ロコミが非常に重要となっていることが分かる。そのため、観光情報の発信に際しては、効果的な媒体に集中するとともに、観光地としての質的な向上によりリピーターを確保し、ロコミを増やすことが最も重要である。また、総合パンフレットの活用方法を再考するなどコスト削減を図るほか、情報通信技術を駆	
コスト・成果ポジション	コスト 中		成果 中
実施方針	「Ⅱ」以上の水準に向けた改善が必要		
④市長の約束			
1. 積極的な観光振興策を実施します 合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。			

予算要求課	商工観光部 観光課	内線 2217
-------	-----------	---------

金額の単位は、千円

款	6	商工費	項	2	観光費	目	1	観光振興費
事業名	62110		高山祭事業費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		5,280	6,996	1,716	5,280	前年同額	5,280	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	起債							
	その他							
	一般財源	5,280	6,996	1,716	5,280		5,280	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
春・秋の高山祭の案内本部運営及び観光客の受け入れ体制整備			
事業実施の課題			
特定エリアに一時的に集中する観光客の安全な誘導と案内			
事業概要			
高山祭時の交通量調査、案内本部等設置、雑踏警備などの業務委託 高山祭協賛会への補助			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
祭人出数(千人)			
春の高山祭	131	173	180
秋の高山祭	213	175	200
成果			
国内外への積極的なPRによる観光客数の増加			
要求額増減理由			
警備体制の強化に伴う増			

①総合計画		
(3) 「にぎわい」のあるまちをめざして		
観光		
(2) 多くの人々に地域の魅力を知ってもらう		
① 戦略的な誘客宣伝		
②実施計画・中期財政計画		
4 「にぎわい」のあるまちをめざして		
(1) 観光		
ソフト		
観光イベント開催事業		
③事業評価		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		
1. 積極的な観光振興策を実施します 合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。		

予算要求課	商工観光部 観光課	内線 2217
-------	-----------	---------

金額の単位は、千円

款	6	商工費	項	2	観光費	目	1	観光振興費
事業名	62125 飛騨高山教育旅行誘致推進協議会負担金							

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		900	900	0	900	前年同額	900	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	起債							
	その他							
	一般財源	900	900	0	900		900	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
飛騨高山の文化、ホスピタリティあふれる郷土性等のPRを官民協働で実施し、教育旅行の誘致を促進する			
事業実施の課題			
事業概要			
教育旅行誘致推進事業			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
教育旅行児童・生徒数(千人)	83	83	85
成果			
若年期の高山訪問によるリピーター増(誘致活動の絶好の機会)			
要求額増減理由			

①総合計画		
(3) 「にぎわい」のあるまちをめざして		
観光		
(2) 多くの人々に地域の魅力を知ってもらう		
① 戦略的な誘客宣伝		
②実施計画・中期財政計画		
4 「にぎわい」のあるまちをめざして		
(1) 観光		
ソフト		
誘客推進事業		
③事業評価		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		
1. 積極的な観光振興策を実施します		
合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。		

予算要求課	商工観光部 観光課	内線 2217
-------	-----------	---------

金額の単位は、千円

款	6	商工費	項	2	観光費	目	1	観光振興費
事業名	62130 飛騨高山観光客誘致推進協議会負担金							

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		19,900	19,400	△ 500	18,900	臨時事業の終了に伴い減	18,900	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	起債							
	その他	19,900	19,400	△ 500	18,900		18,900	
一般財源		0	0	0	0		0	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
官民一体となった事業の展開による観光振興及び年間を通じての観光客誘致促進			
事業実施の課題			
多様化する観光客のニーズに対応した効果的な宣伝強化			
事業概要			
年間を通じた観光宣伝及びイベント開催のほか、特別事業としてTVや新聞等のメディアを有効活用した全国キャンペーンの実施、大学生など若者への積極的な誘客宣伝、二次交通の向上、交通事業者と連携した広告宣伝、テレビ番組収録による全国への情報発信			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
観光客入込数(千人)	4,040	-	(H26 5,000)
成果			
全国に向けた飛騨高山のPR 観光客及びリピーターの増加			
要求額増減理由			

①総合計画		
(3) 「にぎわい」のあるまちをめざして		
観光		
(2) 多くの人々に地域の魅力を知ってもらう		
① 戦略的な誘客宣伝		
②実施計画・中期財政計画		
4 「にぎわい」のあるまちをめざして		
(1) 観光		
ソフト		
誘客推進事業		
③事業評価		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		
1. 積極的な観光振興策を実施します 観光まちづくりを持続可能なものとするため、飛騨地域の民間組織と行政、観光関係者をはじめ、地域住民などの関係者と幅広く連携し、広域ネットワーク化を図ります。		

予算要求課	商工観光部 観光課	内線 2217
-------	-----------	---------

金額の単位は、千円

款	6	商工費	項	2	観光費	目	1	観光振興費
事業名	62135 飛騨高山ビデオ映像祭実行委員会負担金							

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		10,000	10,000	0	0	民間主体での実施に移行	0	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	起債							
	その他	10,000	10,000	0				
	一般財源	0	0	0	0		0	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
放送事業者等と共同して全国から映像作品を募集し、大賞作品をテレビで紹介することによる飛騨高山の知名度とイメージの向上			
事業実施の課題			
より効果的な事業とするため、若年層等応募対象者や魅力的な事業内容の検討を行い、飛騨高山の多彩な魅力を情報発信する			
事業概要			
雑誌、インターネット、大学などでの作品募集、最終審査会及び表彰式の開催、テレビによる大賞作品の放映等			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
応募者数(人)	90	90	100
成果			
撮影等による来訪者の増加 飛騨高山の知名度及びイメージの向上による誘客促進			
要求額増減理由			

①総合計画		
(3) 「にぎわい」のあるまちをめざして		
観光		
(2) 多くの人々に地域の魅力を知ってもらう		
① 戦略的な誘客宣伝		
②実施計画・中期財政計画		
4 「にぎわい」のあるまちをめざして		
(1) 観光		
ソフト		
観光イベント開催事業		
③事業評価		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		
1. 積極的な観光振興策を実施します 合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。		

予算要求課	商工観光部 観光課	内線 2209
-------	-----------	---------

金額の単位は、千円

款	6 商工費	項	2 観光費	目	1 観光振興費
事業名	62145 観光協会等補助金				

新規	継続	拡大	縮小
		○	

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		35,063	43,412	8,349	135,063	入湯税充当事業として観光客誘致推進事業補助金の創設に伴い増	135,063	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	起債							
	その他	15,000	43,412	28,412	135,063		135,063	
一般財源	20,063	0	△ 20,063	0	0			

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
観光事業の振興及び年間を通じた観光客の誘致促進 滞在型・体験型・着地型観光の促進 国際会議等の誘致による交流人口の拡大、学術文化の振興			
事業実施の課題			
滞在型・体験型・着地型観光としてのグリーンツーリズムの集客力向上 経済波及効果が促進されるコンベンション誘致助成制度の見直し及びアフターコンベンションの充実 将来の交通事情の変化を見据えた戦略的コンベンション誘致 新たな観光資源の掘り起こしによる全市域が一体となった誘客宣伝事業の展開			
事業概要			
観光協会の運営に対する支援 グリーンツーリズムの推進 コンベンション開催に対する支援			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
観光客入込数(千人)	4,040	-	(H26 5,000)
体験受入数(人)	3,462	4,000	4,500
コンベンション開催数(件)	35	35	31
成果			
観光事業の振興及び年間を通じた観光客の誘致促進 地域資源を活用した滞在型・体験型・着地型観光の促進 コンベンションの誘致による交流人口の増大 全市域が一体となった誘客宣伝体制の確立			
要求額増減理由			
観光関連団体が行う新たな観光振興事業への支援			

①総合計画		
(3) 「にぎわい」のあるまちをめざして		
観光		
(1) 人々のところを魅了する滞在型・通年型の観光地づくりを行う (2) 多くの人々に地域の魅力を知ってもらう		
① 多様な観光需要への対応		① 戦略的な誘客宣伝
②実施計画・中期財政計画		
4 「にぎわい」のあるまちをめざして		
(1) 観光		
ソフト		
観光協会助成事業・グリーンツーリズム推進事業・飛騨・高山コンベンションビューロー助成事業・コンベンション開催支援事業		
③事業評価		
事業名	コンベンション開催支援事業	今後の方向性
評価区分	Ⅱ	東海北陸自動車道の全線開通など高速交通網の発達に伴う利便性の向上により、コンベンションの誘致に係る条件は良くなっている。また、平成26年に予定されている北陸新幹線の富山までの開通も念頭に、観光面とセットにした戦略的なコンベンションの誘致が必要である。
コスト・成果ポジション	コスト 中 成果 高	
実施方針	「Ⅰ」以上の水準に向けた改善が必要	
④市長の約束		
1. 積極的な観光振興策を実施します 飛騨高山の自然環境を利用したグリーンツーリズム等、地元産業と一体となった新たな旅行スタイルを生み出します。消費効果が高い大規模会議や大規模展示会などを、飛騨地域全体で積極的に誘致します。		

予算要求課	商工観光部 観光課	内線 2209
-------	-----------	---------

金額の単位は、千円

款	6 商工費	項	2 観光費	目	1 観光振興費
事業名	62150 観光振興関係事務費				

新規	継続	拡大	縮小
		○	

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		24,776	22,649	△ 2,127	8,225	事業内容を精査 温泉利用環境整備事業の完了に伴い減	13,745	予算組替に伴い増 (国際観光推進事業費から一部移行) 観光情報提供システムの拡充、飛騨高山ウルトラ マラソン実行委員会負担金を計上
財源内訳	国庫支出金						550	
	県支出金							
	起債							
	その他						120	
	一般財源	24,776	22,649	△ 2,127	8,225		13,075	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
各種調査・統計等の作成及び分析に基づいた戦略的観光宣伝の推進 広域観光関係団体による広域観光の推進 ユニバーサルデザインに基づく案内体制の整備			
事業実施の課題			
観光消費額及び波及効果等の把握 導入済の観光情報提供システムの効果的な運用についての検討			
事業概要			
広域観光関係団体負担金 各種統計調査等委託 観光振興に係る一般行政事務費			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
成果			
経済波及効果、交通量調査、観光統計等 各種基礎資料を基にした戦略的観光振興施策の展開 情報端末整備等による観光情報提供の充実 広域観光推進による周遊型観光の促進			
要求額増減理由			
観光消費額等の調査の実施 観光情報提供システムの充実に要する費用 平湯温泉雑用水整備事業の完了に伴う補助金減			

①総合計画		
(3) 「にぎわい」のあるまちをめざして		
観光		
(1) 人々のところを魅了する滞在型・通年型の観光地づくりを行う		
① 多様な観光需要への対応 ② 受入体制の整備		
②実施計画・中期財政計画		
4 「にぎわい」のあるまちをめざして		
(1) 観光		
ソフト		
広域観光推進事業		
③事業評価		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		
1. 積極的な観光振興策を実施します 情報通信技術は進化し続けており、日々多様化する全世界からの情報ニーズに応えるため、最新の情報通信技術を駆使した新たな誘客施策を展開します。		

事業別予算概要

予算要求課	商工観光部 観光課	内線 2217
-------	-----------	---------

金額の単位は、千円

款	6	商工費	項	2	観光費	目	1	観光振興費
事業名	62155		旅フェア協賛事業費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		3,720	3,438	△ 282	3,370	事業実績に基づき精査	3,370	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	起債							
	その他	3,720	3,438	△ 282	3,370		3,370	
	一般財源	0	0	0	0	0	0	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
国内最大級の観光総合見本市「旅フェア」出展による全国に向けた誘客宣伝			
事業実施の課題			
旅行指向のある来場者ニーズに合った効果的かつ訴求力のある誘客宣伝			
事業概要			
飛騨高山ブース出展による誘客宣伝			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
観光客入込数(千人)	4,040	-	(H26 5,000)
成果			
飛騨高山の更なる認知度の向上 同様に開催する各地の観光事業者とのネットワーク構築			
要求額増減理由			
出展スペースの削減			

①総合計画		
(3) 「にぎわい」のあるまちをめざして		
観光		
(2) 多くの人々に地域の魅力を知ってもらう		
① 戦略的な誘客宣伝		
②実施計画・中期財政計画		
4 「にぎわい」のあるまちをめざして		
(1) 観光		
ソフト		
誘客推進事業		
③事業評価		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		
1. 積極的な観光振興策を実施します 合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。		

予算要求課	商工観光部 観光課	内線 2217
-------	-----------	---------

金額の単位は、千円

款	6	商工費	項	2	観光費	目	2	国際観光都市推進費
事業名	62200		国際観光推進事業費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		17,170	26,289	9,119	18,970	事業実績に基づき精査 パリ国際観光展出展に伴い増	0	予算組替に伴い減 (海外戦略推進費等へ移行)
財源内訳	国庫支出金	550	550	0	550		0	
	県支出金							
	起債							
	その他	16,170	25,739	9,569	15,705		0	
	一般財源	450	0	△ 450	2,715		0	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
海外に向けて観光宣伝等を実施し、外国人観光客の誘致を促進する			
事業実施の課題			
多様化する訪日外国人観光客に対するきめ細やかなサービス提供が必要 国別、地域別のニーズに合った情報発信 民間活力を活用した情報発信の促進を図るため、補助制度拡充についての検討			
事業概要			
海外旅行博等での観光・誘客PR 外国人観光客用パンフレット、チラシ、DVD作成			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
外国人観光客数(千人)	148	-	(H26 300)
成果			
外国人観光客の増加による市域全体の活性化			
要求額増減理由			
新たな言語のパンフレット・チラシ・DVD作成 訪日旅行促進に関する事業の強化 国際誘客に取り組む民間事業者等への支援			

①総合計画			
(3) 「にぎわい」のあるまちをめざして			
観光			
(2) 多くの人々に地域の魅力を知ってもらう			
① 戦略的な誘客宣伝			
②実施計画・中期財政計画			
4 「にぎわい」のあるまちをめざして			
(1) 観光			
ソフト			
国際観光都市推進事業・おもてなし国際化推進事業			
③事業評価			
事業名	国際観光都市推進事業費	今後の方向性	
評価区分	Ⅲ	外国人観光客の受入れ強化のためには、昨年度商店街振興組合が実施した外国人観光客のニーズ調査の結果などを踏まえ、外国人観光客が真に必要なとしているニーズを的確に捉え実施していくことが重要である。なお、調査結果では「散策時に自分の位置を把握するには橋などがメインとなるが、マップでは橋りょう名が外国語表記になっているものの、実物には外国語表記がなく不便である」などの意見が挙げられており、建設課など関係課との連携が重要となっている。また、実施に際しては市民・事業者の自主的な取組みを促すことが必要であり、現状の	
コスト・成果ポジション	コスト 中		成果 中
実施方針	「Ⅱ」以上の水準に向けた改善が必要		
④市長の約束			
1. 積極的な観光振興策を実施します 国際観光都市として将来的に持続できる歴史、自然、文化、人情、食、技を中心とした観光基盤を発展させ付加価値を高めます。 高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。			

予算要求課	商工観光部 観光課	内線 2209
-------	-----------	---------

金額の単位は、千円

款	6	商工費	項	2	観光費	目	3	観光施設費
事業名	62300		観光施設運営事業費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		154,982	222,987	68,005	140,885	事業内容を精査 施設整備改修規模の縮減に伴い減	140,885	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金	254	254	0	254		254	
	起債							
	その他	35,584	32,375	△ 3,209	42,405		42,405	
一般財源		119,144	190,358	71,214	98,226	98,226		

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
自然資源の活用施設や体験交流施設など観光関連施設の整備を促進することにより、人々のところを魅了する滞在型観光地づくりを推進するとともに交流人口の増大により地域の振興を図る。			
事業実施の課題			
運営を休止している施設の管理及び活用 新穂高エリア環境整備事業における周辺の溪流保全工事による影響及び当該地域の観光振興の方向性を勘案した施設整備の在り方の検討 老朽化した施設の計画的な維持修繕			
事業概要			
観光関連施設の指定管理委託 観光関連施設の維持修繕 新穂高エリア環境整備事業			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
成果			
観光施設の安定的運営 施設利用者へのサービスの向上			
要求額増減理由			
施設老朽化に伴う修繕工事等の増 新穂高エリア環境整備事業実施に伴う設計業務委託及び工事等の増			

①総合計画		
(3)「にぎわい」のあるまちをめざして		
観光		
(1)人々のところを魅了する滞在型・通年型の観光地づくりを行う		
③観光施設の整備		
②実施計画・中期財政計画		
4 「にぎわい」のあるまちをめざして		
(1) 観光		
ソフト	ハード	
観光施設運営事業	観光・交流施設維持修繕改修事業	新穂高エリア環境整備事業
③事業評価		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		
1. 積極的な観光振興策を実施します 国際的かつ福祉的観光都市として将来的に持続できる歴史、自然、文化、人情、食、技を中心とした観光基盤をさらに発展させ付加価値を高めます。		

予算要求課	商工観光部 観光課	内線 2209
-------	-----------	---------

金額の単位は、千円

款	6	商工費	項	2	観光費	目	3	観光施設費
事業名	62304		スキー場運営事業費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		40,000	60,247	20,247	20,000	施設整備改修内容・積算内容を精査	20,000	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	起債							
	その他	7,248	7,336	88	7,336		7,336	
一般財源	32,752	52,911	20,159	12,664	12,664			

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
モンデウス飛騨位山スノーパーク及びひだ舟山スノーリゾートアルコピアのリフト等設備の整備による安定的なスキー場運営			
事業実施の課題			
安心・安全な施設運営のため、施設の老朽化等を踏まえた整備工事の実施 投資効果と地域への経済波及効果等を十分精査したうえでのスキー場の具体的な管理方針の策定 施設の老朽化に伴う計画的な維持修繕			
事業概要			
モンデウス飛騨位山スノーパーク・ひだ舟山スノーリゾートアルコピアの施設整備			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
スキー場入込者数(千人)			
モンデウス飛騨位山スノーパーク	48	50	50
ひだ舟山スノーリゾート	35	50	50
成果			
安心・安全なスキー場運営			
要求額増減理由			
施設老朽化に伴う修繕工事等の増			

①総合計画		
(3)「にぎわい」のあるまちをめざして		
観光		
(1)人々のところを魅了する滞在型・通年型の観光地づくりを行う		
③観光施設の整備		
②実施計画・中期財政計画		
4 「にぎわい」のあるまちをめざして		
(1) 観光		
ハード		
観光・交流施設維持修繕改修事業		
③事業評価		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		
1. 積極的な観光振興策を実施します 国際的かつ福祉的観光都市として将来的に持続できる歴史、自然、文化、人情、食、技を中心とした観光基盤をさらに発展させ付加価値を高めます。		

予算要求課	商工観光部 観光課	内線 2209
-------	-----------	---------

金額の単位は、千円

款	6	商工費	項	2	観光費	目	3	観光施設費
事業名	62315 観光案内所運営事業費							

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		5,130	5,624	494	4,780	事業実績に基づき精査	4,780	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	起債							
	その他	5,130	5,624	494	4,780		4,780	
一般財源	0	0	0	0	0	0		

以下は予算要求時の内容

事業の目的				
総合的な観光案内の実施により、本市を訪れる観光客の利便性の向上を図る。				
事業実施の課題				
夏季営業時間延長時の英語案内体制の充実				
事業概要				
飛騨高山観光案内所の管理運営				
飛騨高山まちかど観光案内所の管理運営				
	計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
案内件数(件)				
飛騨高山観光案内所(高山駅前)		303,742	289,000	300,000
飛騨高山まちかど観光案内所(上三之町)		37,423	35,000	37,000
成果				
観光客の利便性向上により、満足度を高める。				
要求額増減理由				
夏季営業時間延長時の英語案内体制の充実				

①総合計画		
(3)「にぎわい」のあるまちをめざして		
観光		
(1)人々のところを魅了する滞在型・通年型の観光地づくりを行う		
②受入体制の整備		
②実施計画・中期財政計画		
4 「にぎわい」のあるまちをめざして		
(1) 観光		
ソフト		
観光案内所運営事業費		
③事業評価		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		
1. 積極的な観光振興策を実施します		
合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。		

予算要求課	商工観光部 観光課	内線 2209
-------	-----------	---------

金額の単位は、千円

款	6	商工費	項	2	観光費	目	3	観光施設費
事業名	62320		観光施設管理事務費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		562	596	34	562	前年同額	562	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	起債							
	その他							
	一般財源	562	596	34	562		562	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
滞在型・通年型の観光地づくりを行うための自然資源の活用、施設や体験交流施設など観光関連施設の維持管理			
事業実施の課題			
事業概要			
乗鞍インターネットライブカメラ等の運営			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
成果			
事前情報の発信による誘客の促進			
要求額増減理由			

①総合計画		
(3)「にぎわい」のあるまちをめざして		
観光		
(1)人々のところを魅了する滞在型・通年型の観光地づくりを行う		
③観光施設の整備		
②実施計画・中期財政計画		
③事業評価		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		
1. 積極的な観光振興策を実施します 国際的かつ福祉的観光都市として将来的に持続できる歴史、自然、文化、人情、食、技を中心とした観光基盤をさらに発展させ付加価値を高めます。		